

事業名	(16) 市からの情報発信のバリアフリー化推進事業
担当課	広報課

■取組内容

2017年度	広報活動（広報紙、ホームページ等）の質の向上
2018年度	広報活動（広報紙、ホームページ等）の質の向上
2019年度	広報活動（広報紙、ホームページ等）の質の向上
2020年度	広報活動（広報紙、ホームページ等）の質の向上

■評価結果

評価項目	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		
	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容	
プロセス評価	1 意見収集	十分ではないが設けた	2017年度に広聴課実施の市政モニターアンケートで意見収集（2017年度町田市市政モニターの市民189人対象）を実施。	十分ではないが設けた	無作為抽出の市民3000人にアンケート調査を実施。	十分ではないが設けた	ホームページのリニューアルに際し、点字版広報等を購読している方に直接電話でヒアリングを行い、よりユニバーサルなデザインになるように心がけた。	十分ではないが設けた	アクセシビリティに関するアンケートフォームを作成し、広く意見を募集した。
	2 意見反映	十分ではないが反映されている	○市政モニターアンケート結果により、広報紙の入手方法がわからない方が多いことがわかった。情報格差が生じないよう、無料配布のお知らせを市内全域の自治会・町内会の掲示板に掲示し、あわせてチラシの回覧を実施した。 ○東京都の広報が見やすい、とのご意見を複数いただいた。都の広報を分析し、囲み記事のレイアウトとタイトルデザインを統一したところ、同様のご意見がなくなった。	十分ではないが反映されている	広報紙・まちテレ・東京町田インフォメーション・SNSの広報手段の在り方や内容の見直し	十分ではないが反映されている	○ホームページでは、アクセシビリティへの配慮が全庁的に推進されている。 ○広報紙では、囲み記事の位置を極力まとめ、目線をあまり上下に動かさずに読めるようレイアウトを工夫した。また、聴覚障がいのある方からご意見をいただき、「急病のときは（救急当番医情報）」の記事を見直し、東京都医療機関案内サービス「ひまわり」と町田市医師会休日・準夜急患子どもクリニックの連絡先にFAX番号を追加した。	十分ではないが反映されている	○ホームページでは、アクセシビリティへの配慮が全庁的に推進されている。 ○広報紙では、囲み記事の位置を極力まとめ、目線をあまり上下に動かさずに読めるようレイアウトを工夫した。
	3 関係機関連携	十分ではないが連携している	庁内との広い範囲での連携は図っていないが、本計画策定に当たって福祉総務課との連携はあった。	十分ではないが連携している	広報紙では、情報バリアフリーの視点で以下を実施した。 ①視覚障がい者や高齢に伴う視力等にハンディのある方などの掲載記事に関する問合せを代表電話で受け取り、その旨を毎号最終面に掲載している。 ②障がい福祉にかかる情報などは、①だけによらず、記事内に担当課の電話番号に加え、FAX番号も併記している。	十分ではないが連携している	広報紙では、情報バリアフリーの視点で以下を実施した。 ①視覚障がい者や高齢に伴う視力等のハンディキャップのある方等が、掲載記事に関する問合せをされる際、代表電話に電話していただければ各記事のご案内をすることができるよう、広聴課と連携した仕組みを設定。毎号最終面にその旨の案内文を掲載している。同取組について、福祉総務課主催の情報バリアフリー研修で庁内に周知をした。 ②障がい福祉にかかる記事などは、①だけによらず、問合せに担当課の電話番号とあわせ、FAX番号も併記している。	十分ではないが連携している	広報紙では、情報バリアフリーの視点で以下を実施した。 ①視覚障がい者や高齢に伴う視力等のハンディキャップのある方等が、掲載記事に関する問合せをされる際、代表電話に電話していただければ各記事のご案内をすることができるよう、広聴課と連携した仕組みを設定。毎号最終面にその旨の案内文を掲載している。同取組について、福祉総務課主催の情報バリアフリー研修で庁内に周知をした。 ②障がい福祉にかかる記事などは、①だけによらず、問合せに担当課の電話番号とあわせ、FAX番号も併記している。

評価項目	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容
プロセス評価	4 広報・PR	十分ではないが広報・PRしている ○点字版、声(デージー版)、SPコード版の広報紙を作成していることを、ホームページ等で周知している。 ○広報紙のお知らせ面のデザイン等の改定は、よりバリアフリー化する過程の作業であり、PRするレベルではないため、周知等は行わずに変更している。	十分ではないが広報・PRしている 点字版、声(デージー版)、SPコード版の広報紙を作成し、ホームページ等で周知している。	十分ではないが広報・PRしている 点字版、声(デージー版)、SPコード版の広報紙を作成し、ホームページ等で周知している。	十分ではないが広報・PRしている ホームページではウェブアクセシビリティについての試験結果を毎年公表している。	十分ではないが広報・PRしている ホームページではウェブアクセシビリティについての試験結果を毎年公表している。	十分ではないが広報・PRしている ホームページではウェブアクセシビリティについての試験結果を毎年公表している。	十分ではないが広報・PRしている ホームページではウェブアクセシビリティについての試験結果を毎年公表している。
	5 工夫・改善	十分ではないが工夫・改善している 点字版、声(デージー版)、SPコード版の広報紙を利用されている方に、利用状況調査を実施した結果、SPコード版のニーズが低いことがわかった。この結果より2019年度から点字版とデージー版のみ提供することとした。	十分ではないが工夫・改善している 点字版、声(デージー版)、SPコード版の広報紙を利用されている方に、利用状況調査を実施した結果、SPコード版のニーズが低いことがわかった。この結果より2019年度から点字版とデージー版のみ提供することとした。	十分ではないが工夫・改善している 点字版、声(デージー版)、SPコード版の広報紙を利用されている方に、利用状況調査を実施した結果、SPコード版のニーズが低いことがわかった。この結果より2019年度から点字版とデージー版のみ提供することとした。	十分ではないが工夫・改善している ウェブアクセシビリティの研修に参加したり、まちテレの配信に手話を加えたりしている。	十分ではないが工夫・改善している ウェブアクセシビリティの研修に参加したり、まちテレの配信に手話を加えたりしている。	十分ではないが工夫・改善している ウェブアクセシビリティの研修に参加したり、まちテレの配信に手話を加えたりしている。	十分ではないが工夫・改善している ウェブアクセシビリティの研修に参加したり、まちテレの配信に手話を加えたりしている。

評価項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
6 実績評価	進捗状況	目標通り進んでいる	目標通り進んでいる	目標通り進んでいる	目標通り進んでいる
7 効果評価	市民の満足	十分ではないが満足されていると思う	十分ではないが満足されていると思う	十分ではないが満足されていると思う	十分ではないが満足されていると思う
	市民の認知	十分でないが認知されている	十分でないが認知されている	十分でないが認知されている	十分でないが認知されている

■スパイラルアップの内容

2017年度	今後も市民意見や市政モニター調査の結果などを踏まえて、広報手段の在り方や内容の見直しを実施していく。 情報環境の変化などをとらえ、常に改善点を見つけて対応していくものと考えている。 情報のバリアフリーは、様々な障がいや情報格差を感じる方々があり、一つの改善策が、別の障がいには対応できないなど最善の解決策を見出すのが難しいと感じている。
2018年度	今後も市民意見や市政モニター調査の結果などを踏まえて、広報手段の在り方や内容の見直しを実施していく。 情報環境の変化などをとらえ、常に改善点を見つけて対応していくものと考えている。 情報のバリアフリーは、様々な障がいや情報格差を感じる方々があり、一つの改善策が、別の障がいには対応できないなど最善の解決策を見出すのが難しいと感じている。
2019年度	今後も市民意見や市政モニター調査の結果などを踏まえて、広報手段の在り方や内容の見直しを実施していく。 情報環境の変化などをとらえ、常に改善点を見つけて対応していくものと考えている。 情報のバリアフリーは、様々な障がいや情報格差を感じる方々があり、一つの改善策が、別の障がいには対応できないなど最善の解決策を見出すのが難しいと感じている。
2020年度	今後も市民意見や市政モニター調査の結果などを踏まえて、広報手段の在り方や内容の見直しを実施していく。 情報環境の変化などをとらえ、常に改善点を見つけて対応していくものと考えている。 情報のバリアフリーは、様々な障がいや情報格差を感じる方々があり、一つの改善策が、別の障がいには対応できないなど最善の解決策を見出すのが難しいと感じている。